北海道開発局事業審議委員会(令和4年度第2回) 審議案件一覧

		事業名	再評価理由	上段:前回再評価	事業の概要	事業期間		全体 事業費	進捗率	事業の効果等	費用便益比 全体 総	総費用	総便益	地方公共団体等の意見	対応 方針	対応方針(案)決定の理由	備考
		, ,,,		下段:今回再評価		事業化 年度	完了予定 年度	(億円) ※1	Ж1	ナネジがネリ	B/C	403€713	10 X III	-633 43/LIN (4 13/2)2	(案)	7,107,21 (30,70,207,111	jii 5
西	∓~ 1 ≸	網走川直轄河川改修事業	社会経済情勢 等の変化	前回 (R 2)	平成27年9月に網走川水系河川整備計画を策定し、戦後を大規模である平成4年9月の洪水で道の掘でに、とを目標に、堤防、河道の掘災害の整備を進めています。また、100を備を進めています。また、100を開いた。100を開い	H27	R16	60	約55%	整備計画における整備メニューの実施により、戦後最大規模の洪水を安全に流すことができる。	5. 2	59		当該事業は、戦後最大規模の洪水流量を安全に流下させる河道の整備等等を行うことに加え、災害時の水防活動や災コケを関係を対して、河川川洪水被害からることにより、下変心」を対して異議はあった。といるとの実施につまません。ない、事業の実施だの保全にない、大郎でのよい、事業の関係を保全にで努っての、ない、事業の関係を関係を発している。といるは、大い、他では、大い、他では、大い、他では、大い、他では、大い、は、大い、は、大い、は、大い、は、大い、は、大い、は、大い、は、大い	継続	事業の必要性・重要性に変化 はなく、費用対効果等の投資 効果も確保されているため	重点審議 (c) 推定事業費が顕 著に増加する事業
+3				今回 (R 4)	同上	H27	R16	86	約55%	同上	4. 0	89	352				
再~	~ 2 ₫	鵡川直轄河川改修事業	再評価後5年	前回 (H 2 9)	平成21年2月に鵡川水系河川整備計画を策定し、戦後最大規模である平成4年8月の洪水を安全に流すことを目標に、堤防、河道の掘削等の整備を進めています。	H21	R14	201	約29%	整備計画における整備メニューの実施により、戦後最大規模の洪水を安全に流すことができる	1.1	168	100	当該事業は、戦後最大規模の洪水流量を安全に流下させる河道の整備等を行うことにより、洪水被害から人命と財産を守り「安全・安心」を確保することから、事業の継続について異議はありません。シシャモ・サケ等の生息環境などの保全に努め、徹底したコスト縮減を図るとともに、れまで以上に効率的・効果的な執行に努め、早期完成を図るようお願いいたします。	継続	事業の必要性・重要性に変化 はなく、費用対効果等の投資 効果も確保されているため	
				今回 (R 4)	同上	H21	R14	164	約72%	同上	2. 7	223					

※1 進捗率は、それぞれの全体事業費に対する進捗率を示す

- ◆重点審議案件の選定要件 (a) 事業計画が顕著に変更された事業
 - (b) 推定便益が顕著に減少する事業
 - (c)推定事業費が顕著に増加する事業
 - (d) 事業の進捗予定が顕著に遅れている事業
 - (e)その他の要因